

## オープン市場短信 (2020年6月)

2020.6.9

### ◆ 5月のCP市場動向

5月末のCP市場残高は、24兆2,880億円（前月比+1兆427億円）で、月末の発行残高としては2カ月連続で過去最高を更新した（前年同月比+4兆404億円）。発行市場は、大型連休明けは案件少なく取引閑散であったが、下旬以降は事業法人中心に賞与資金手当て等の資金需要が強まり活況となった。業態別残高では、一般事業法人が10兆6,306億円（前月比+8,021億円）、金融機関が2兆4,144億円（同+4,700億円）と増加した。一方、その他金融が10兆1,817億円（同△560億円）、ABC Pが1兆613億円（同△1,633億円）と減少した。発行レートは、日銀の追加緩和を受けて発行環境が好転しレート低下地合いとなり、多くの銘柄でマイナスから0%近辺での出会いとなった。

#### 【新発3M物の発行レート】

最上位銘柄（a-1+格）0.000%割れ 一般事業法人（a-1格）0.000%割れ～0.090% その他金融銘柄（a-1格）0.000%割れ～0.002%

#### 【業態別残高内訳】

（単位：億円）

業 態	5月末残高	4月末残高	増 減
一般事業法人	106,306	98,285	8,021
その他金融	101,817	102,377	-560
金融機関	24,144	19,444	4,700
政府系金融	0	0	0
銀行等	7,065	3,465	3,600
証券	17,079	15,979	1,100
ABC P	10,613	12,246	-1,633
計	242,880	232,352	10,528

（注：買入消却分含む）

## 【格付け別の発行レート】

格 付	1か月	2か月	3か月
a-1+ (一般事業法人)	—— ～ ——	—— ～ ——	△ ～ ——
a-1 (一般事業法人)	△ ～ 0.3500%	△ ～ 0.0900%	△ ～ 0.090%
a-1+ (リース銘柄)	—— ～ ——	—— ～ ——	—— ～ ——
a-1 (リース銘柄)	0.001% ～ 0.300%	0.070% ～ ——	△ ～ 0.0020%
a-2	0.050% ～ ケ 0.50%	—— ～ ケ 0.75%	0.090% ～ ケ 1.00%

### 《C P オペ》

C P等買入オペは、当初予定通り2回の合計1兆6,000億円で実施され、何れもオフア時に応札下限レート△0.10%が設定された。発行レートの低下を受けて、13日のオペは按分レート△0.068%・平均落札レート△0.027%と、前回比（按分レート+0.052%・平均落札レート+0.081%）で大幅に低下した。26日は、ディーラーの積極的な売却ニーズから応札額が過去最高の1兆9,452億円となり、按分レート△0.027%・平均落札レート△0.020%と上昇した。

〈月末オペ残高：4兆666億円〉

## 【日銀CP等買入れオペ実績】

(単位：億円)

実施日	実行日	オフア金額	応札額	落札額	按分・全取	平均落札	按分比率
5月13日	5月18日	8,000	13,243	7,996	-0.068%	-0.027%	9.3%
5月26日	5月29日	8,000	19,452	8,000	-0.027%	-0.020%	87.3%

### 《A B C P》

A B C Pは、1兆613億円と前月比△1,633億円減少し、前年同月比では△514億円の減少であった。

### 《短期社債登録状況》

証券保管振替機構によると、5月末時点における発行登録企業数は529社で変わらずであった。

### 《C P 現先市場》

現先(S/N)レートは運用ニーズ変わらず、マイナス～0%近辺での出会いとなっていた。

## ◆ 6月のCP市場動向

6月の発行残高は、前月末残高（24兆2,880億円）とほぼ同水準と思われる。一般事業法人で四半期末決算の残高調整を行う一方で、5月中には発行限度額の増額を行った企業が10社を数える等コロナウイルス対策での資金需要が見込まれ、発行超が予想されるためである。また、5月は発行期間の長期化を図る企業が散見された。今月も、比較的長い期間での発行を行う企業が増加すると思われる。発行レートは、一般事業法人（a-1格付）の銘柄でマイナス～0.01%台前半、その他金融・リースの銘柄（同格付）で0%～0.01%台前半での出合いを予想する。

### 《CPオペ》

CP等買入オペは、4日・12日・25日のそれぞれ6,000億円のオファー予定となっている。4日オファーのオペは予定通りの6,000億円で実施され、応札レートには5月のオペと同様 $\Delta 0.10\%$ の下限が事前に設定された。結果は、ディーラーの売却ニーズ強く、按分レートが $\Delta 0.017\%$ （前回： $\Delta 0.027\%$ ）・平均落札レート $\Delta 0.005\%$ （前回： $\Delta 0.020\%$ ）と、上昇した。次回以降のオペについては、やや低下が見込まれる。

### 《CP現先市場》

CP現先レートは、0%近辺での出合いを予想する。

\* 参考資料 (出所：証券保管振替機構)

【5月末発行残高 上位10社】

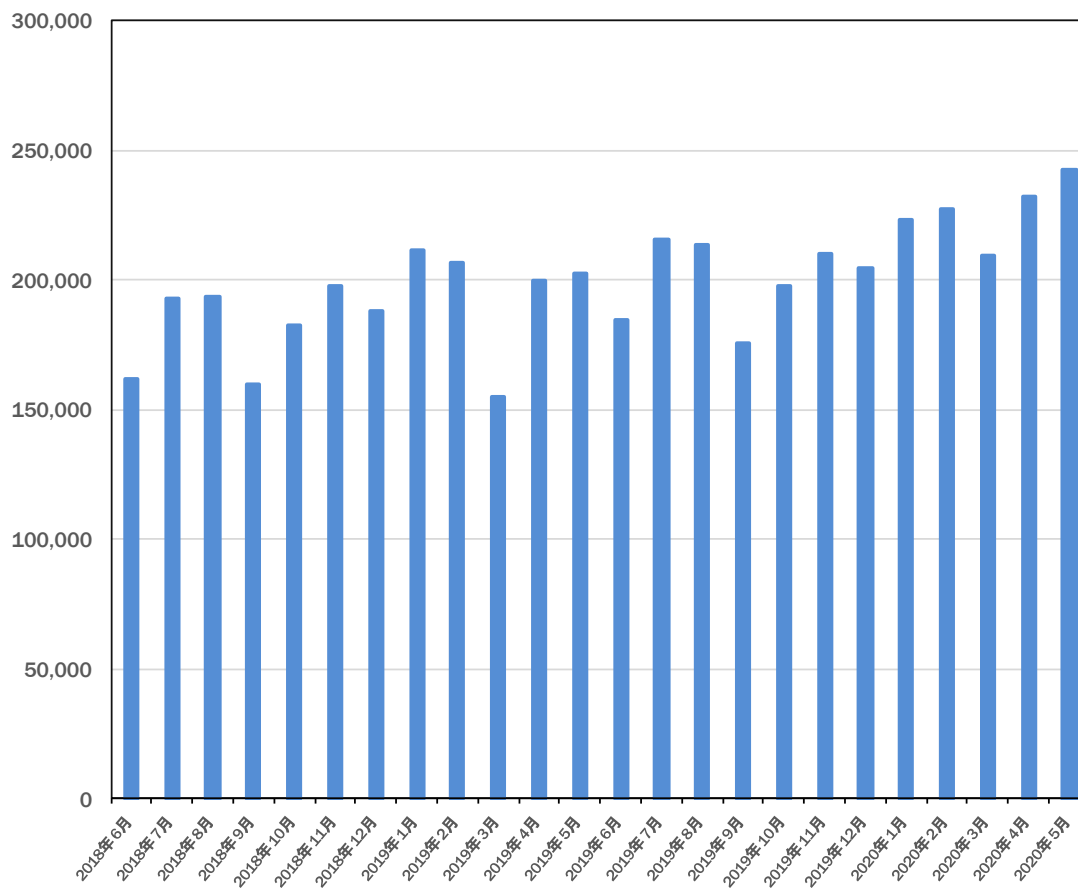
(単位：億円)

	発行企業名	5月末残高	4月末残高
1	NTTファイナンス株式会社	13,390	12,000
2	三井住友ファイナンス&リース株式会社	10,479	10,399
3	三菱UFJリース株式会社	7,287	7,171
4	みずほリース株式会社	5,437	5,500
5	株式会社クレディセゾン	4,940	4,970
6	東京センチュリー株式会社	4,888	5,003
7	株式会社ジャックス	4,560	4,575
8	野村證券	4,410	4,170
9	出光興産	4,360	2,880
10	芙蓉総合リース	4,352	4,037

【短期社債市場残高】

(2018年6月～2020年5月)

(単位：億円)



---

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

上田八木短資株式会社

登録金融機関 近畿財務局長（登金）第 243 号

大阪本社 〒 541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋 2 丁目 4 番 2 号

東京本社 〒 103-0022 東京都中央区日本橋室町 1 丁目 2 番 3 号

加入協会 日本証券業協会